

6月議会閉会

日本共産党・意見書5本提案 「医療機関への財政的支援」採択

18日（木）、6月定例会市議会が討論・採決をおこない閉会しました。日本共産党は全議案に賛成し、市長提案の18件はすべて可決されました。

日本共産党「ギガスクール整備は慎重に」と指摘

一般会計補正予算で、小・中学校情報教育推進事業として、校内通信ネットワークを整備するために、3億6522万円もの多額の予算が可決されました。

これは、文科省の「ギガスクール構想の実現」によるもので、児童・生徒1人1台の端末が使えるようにする、そのために、校内通信ネットワークを整備するという費用です。日本共産党は、4点を指摘して賛成しました。

①基礎学力を身に着けるうえで弊害にならないようにする。②特に小学校低学年は、基礎・基本の学習をしっかりとおこなうことが大切。小学校低学年にはパソコンは不必要。③教員の多忙化に拍車をかけないこと。専門職員を配置する。④いま、特に必要なのは、少人数学級の実施、教職員増員、トイレなどの施設・設備の改修。ソフトの購入など多額の予算がかかるパソコン導入は慎重に行う。

消費税5%引き下げの意見書等4件不採択

日本共産党は5本の国への意見書を提案しました。「医療機関に対する財政的支援を求める意見書」は採択されました。しかし、他の意見書は不採択とされ、切実な市民の要求に背く結果となりました。

市長・副市長・教育長の給料3カ月減額

市長より、コロナ対策費用への充当として市長30%、副市長20%、教育長15%、3か月減額の条例が追加提案され全会一致で可決されました。

なお、議員については5月臨時議会で、政務活動費50%、視察費全額の合計1467万円を削減しています。